



川口の教育



【令和4年度川口市中学校駅伝競走大会 令和4年10月19日（水）川口市立南中学校周辺】

第642号

【目次】

教育長退任に際して	前川口市教育委員会教育長	茂呂 修平	・・・・・・・・(2)
教育長就任にあたって	川口市教育委員会教育長	井上 清之	・・・・・・・・(2)
指導の手引き 「特別の教科 道徳」 教師の意図を明確にした授業づくり	川口市教育局学校教育部指導課指導主事	加藤 知子	・・・・・・・・(3)
文化財センターの紹介 「博学連携も“DX”で、さらに充実！」	教育総務部	文化財課	・・・・・・・・(4)
ものづくりによる深い学び ～理科教育における役割～	川口市立科学館副主幹	石黒 裕也	・・・・・・・・(5)
令和4年度川口市中学校駅伝競走大会結果			・・・・・・・・(6)

11 月号

—令和4年—

編集・発行 川口市教育委員会

教育長退任に際して

前川口市教育委員会教育長

茂 呂 修 平



平成28年10月より6年間にわたり教育長として務めてまいりましたが、この度、任期満了を迎え、10月15日付けで退任いたしました。在職期間中には、市内の各機関、各団体をはじめ、数多くの方々から並々ならぬご指導、ご支援を賜りましたことに心よりお礼申し上げます。

在職期間中の6年を顧みますと、教育行政においては様々な取組や新たな試みがありました。

平成30年に本市の三大プロジェクトの一つとして開校した川口市立高等学校は、文武両道を体現するにふさわしい素晴らしい教育環境のもと、開校以来着実に成果を上げ、今年度からは文部科学省より先進的な理数教育の実践を目指すスーパーサイエンスハイスクールに指定されるなど本市教育のリーディング校としての歩みを進めております。また、令和3年に開校した附属中学校には、多くの市民の方々からの関心や期待が寄せられ、今後、推進が図られる中高一貫教育は本市の学校教育を大いに牽引していくものになると確信しております。

この平成30年度は、本市が中核市に移行した年でもありました。移行に際して、教育行政としては教職員研修における体系的な改革が進められ、それまでは県で行われていた中堅教諭等資質向上研修を市で実施するとともに、各種研修内容についても本市の学校課題に応じた実践的な研修内容への変革を進めてまいりました。近年、各種学力調査において本市の結果が上昇傾向にあるのは、本市の子供達に関わる全ての方々が一体となって取り組んでいただいていることの成果であります。引き続き教職員の資質能力の向上を軸としながら子供達の学力の向上が図られることを強く願っております。

さて、3年前から続く新型コロナウイルス感染症は、社会生活はもちろん学校教育にも様々な意味で大きな影響を及ぼしました。これまでの当たり前が一変し、ニューノーマルと言われる変化が求められる中、「子供達の学びを止めない」ために積み重ねられた知恵の数々は、これから進む「令和の日本型学校教育」における一つの礎になるものであります。ぜひ、予測困難な状況の中で、自らの力で最適解を導き出すことのできる児童生徒の育成に努めていただければと思います。

私は、初めて教壇に立った日から「全ては子供達のために」という思いを常に念頭に置きながら日々、目の前の子供達に向き合い教育活動に邁進してまいりました。

この度の退任に際しまして、「川口の宝」である子供達一人ひとりの自己実現が図られ、沢山の笑顔が溢れるべく、学校、保護者、地域が一体となった学校づくりがさらに推進され、新たな教育長のもと川口の教育がますます発展していくことを願ってやみません。引き続き川口を愛するものとして陰ながらではありますが応援していきたいと存じます。

教育長就任にあたって

川口市教育委員会教育長

井 上 清 之



このたび、10月16日付で教育長に就任いたしました井上清之でございます。教育長として、未来を創る子供達の知・徳・体の調和のとれた人間形成を目指して、教育行政を推進してまいります。

川口市教育大綱の基本理念は「一人ひとりが輝く、しなやかさとたくましさを備えた人材を育てる川口の教育」であります。社会が大きく変化し予測困難な時代において、「一人ひとりが輝く」ためには、子供達が自分自身のよさを認識するとともに、他者を尊重し、様々な人たちと協働しながら、持続可能な社会の創り手として、自らの未来、社会の未来を切り拓いていける力を身につけることが必要です。

さて、学校教育においては、学力向上、教職員の不祥事根絶、働き方改革の一層の推進等、課題が山積しております。様々な課題の中で、早急に解決が求められる喫緊の課題は、「不登校児童生徒の支援」と「中学校部活動の地域移行」です。

まず、「不登校児童生徒の支援」については、不登校の出現率を下げる指導だけではなく、支援率100%を目指し、誰一人取り残すことのない不登校対策を目指します。そのために、児童生徒一人一人に寄り添うとともに、学校や保護者、関係機関と連携し、オンラインを活用するなどして子供達を孤立させない個別最適な支援に取り組みます。

次に、「中学校部活動の地域移行」については、これまでの部活動の在り方を振り返り、地域移行への課題を焦点化するとともに、将来にわたり誰もが文化・スポーツに継続して親しむことができる環境を確保するしくみづくりを目指します。このことは、学校の働き方改革の視点だけではなく、地域の子供達が地域の方々とともにスポーツや文化活動に勤しむ「中学生を核とした地域づくり」への発展が期待でき、地域コミュニティを再構築することにもつながるものであると捉えております。

この2つの大きな課題につきましては、学校のみならず広く関係者や保護者、市民の皆様の声を聞きながら推進する所存です。

また、これまで年次研修については、中堅教諭等資質向上研修のみを中核市として川口市が行っていましたが、令和5年度からは、初任者研修等、全ての年次研修を原則として川口市が実施します。これらの研修を、現在の川口市の教育課題に対応した更なる特色あるものとする事で、令和の日本型学校教育に対応する実践力を備えた、新しい時代の教職員を育成してまいります。

私は、「信頼され、愛される教育委員会」を構築し、教育に関わる全ての人たちが信頼という固い絆で結ばれ、教育大綱に示されている川口の教育が実現できるよう全力を尽くしてまいります。

「特別の教科 道徳」 教師の意図を明確にした授業づくり

川口市教育局学校教育部指導課 指導主事 加藤 知子

1 はじめに

「特別の教科 道徳」(以下「道徳科」という。)が全面実施となり、小学校は5年目、中学校は4年目を迎える。

各学校では、「考え、議論する道徳」へと質的転換を意識した、様々な工夫ある授業が行われているところである。しかし、指導にあたっては、これでよいのか、どうすればよいのかという不安や迷いの声を聞く。

本稿では、道徳科の授業を行ううえで基本となる、教師の意図を明確にした授業づくりについて示す。

2 「考え、議論する道徳」の授業

「考え、議論する道徳」の授業とは、答えが一つではない道徳的な課題について、発達の段階に応じて、一人一人の子供が自分自身の問題と捉え、向き合って考えていけるような授業のことをいう。

「考える」とは

子供が主体的に自分との関わりから、ねらいとする道徳的価値について、自分の感じ方や考え方を明確にすることである。

「議論する」とは

子供が多面的・多角的に考えて、多様な考え方や感じ方と出会い、交流することである。そうすることで、自分の考え方や感じ方をより明確にすることができる。

「考え、議論する道徳」の授業の実現に向けては、次の4つのことに留意して授業を振り返り、改善を図っていただきたい。

【チェック項目】

- 子供が問題意識をもって授業に臨めているか。
- 自分との関わりで考える授業になっているか。
- 多面的・多角的に考えさせる授業になっているか。
- 自己の生き方への思いや願いを深めているか。

3 教師の明確な意図に基づいた授業構想

上記のような授業を行うために、教師が、明確な指導の意図をもって授業を構想すること、それが子供の学習状況に大きく影響することは言うまでもない。それゆえに、次の3つの要素は、授業づくりにおいて重要であり欠かせないものである。

道徳的
価値

ねらいとする道徳的価値について、意味の解釈、指導の重点を明確にするため、学習指導要領解説に基づいて道徳的価値分析をする。

児童生徒
の実態

児童生徒の実態を捉え、本時で何を考えさせ、何に気付かせたいのかを明確にする。

教材の
活用

子供たちに考えさせたい内容が、どの場面にどのように含まれているのか検討し、具体的な教材の生かし方を明らかにする。

4 授業づくりシートの活用

令和3年度の徳力向上推進委員会道徳部会において、誰もが「考え、議論する道徳」の授業ができるようにとグループ協議用の授業づくりシートを作成した。今年度は、A4一枚にまとめた個人用シートを作成中である。

①価値分析、②教材分析、③ねらいを立てる(児童生徒の実態をもとに)、④中心発問、⑤前後の発問まで、順を追って取り組むことができるシートである。はじめは慣れなくても、教材研究での活用を重ねるごとに、道徳的価値分析の重点やねらいを明確にすることの重要性など、授業づくりのポイントがわかってくると思う。

このシートの格納場所を下記に示したので、道徳科の授業に不安や迷いのある先生方に、また、日々の教材研究の効率化の一助として、ぜひご活用いただきたい。

道徳科授業づくりシート格納場所

校務支援PC - 教育委員会学校共有 - 全共有 - 道徳 - 授業づくりシート

5 GIGAスクール端末の効果的な活用例

一般的な指導過程において、下記のような活用例がある。GIGAスクール端末も、教師がその効果を考え、意図をもって活用することが大切である。

【導入】問題意識をもたせるための活用

- ・アンケートでの実態把握 ・画像や映像、グラフでの問題提示

【展開】多面的・多角的に考えさせるための活用

- ・自分の考えを入力し、共有する。他者の意見を知り、多面的・多角的にとらえ、議論を進める有効なツールとなる。

【終末】自分自身との関わりの中で深めるための活用

- ・本時の学習を通して自己の振り返り等を入力し、蓄積していく。道徳科における評価にも生かしていくことができる。

6 おわりに

教師が明確な意図をもち、児童生徒にとって新たな学びとなるよう工夫した授業づくりをすることにより、児童生徒の「深い学び」へと向かう質の高い授業が行われることを期待している。

博学連携も“DX”で、さらに充実！

教育総務部 文化財課

1 その学び、一緒に実現します！

『博学連携』地域の図書館や博物館、美術館、劇場、音楽堂等の施設の活用を積極的に図り、資料を活用した情報の収集や鑑賞等の学習活動を充実すること。

(小学校／中学校学習指導要領 総則)

『餅は餅屋』仕事は専門家に任せるのが一番である、というたとえ。

- ・地域や川口市の昔のことを調べたい。
 - ・歴史学習を自分事として捉えさせたい。
- そんな時こそ、『博学連携』をおすすめします。『餅は餅屋』のたとえのとおり、必要な場面で専門家に任せてください。

■博学連携の利点

- ・専門家の知識や貴重な資料に触れ、深い学びが実現できる。
- ・先生方は教材研究の負担が減り、ねらいをもった授業づくりに専念できる。
- ・社会教育施設との関わりが多いほど、放課後や休日に足を運ぶ機会が増え、学校教育外でも学び続ける子どもたちが育つ。

2 連携って手間がかかるんでしょ？

これだけで、「歴史教室」を実施できます。

- (1)学校連携担当に電話する。
- (2)学年、教科領域、ねらいを説明する。
- (3)日程、実施方法を定める。
- (4)様式(A4/1枚)を記入し、FAXで送る。

3 歴史教室ってどんなことができるの？

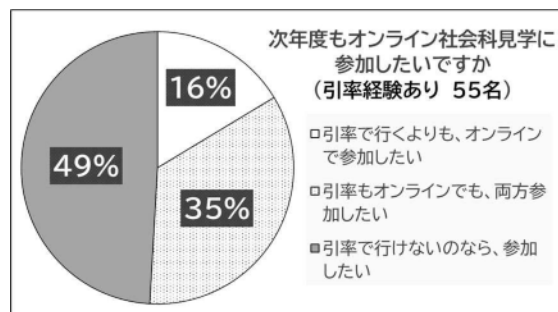
■実際の授業例

- ・国語：物語文に描かれた昔の道具を見て・触れて、読みを深める。
- ・社会：各時代に関する実物資料を使った歴史学習(土器、木簡、戦争に関する資料 等)

- ・総合…学校の歴史や地域の昔の様子を調べる際、資料館の職員に質問する。

教室へ資料を持ち込む出前授業だけでなく、今イチオシなのは、オンラインで繋ぐ授業です。資料館から持ち出せない貴重な資料をアップで見せられたり、専門家が学習のねらいをおさえて解説したり、それを見聞きしながらノートを書いたりすることもできます。

4 オンラインなんてリアルな代替でしょ？



今年度、市内49校4,538人の小学3年生が参加したオンライン社会科見学「いもの工場を見学しよう」を行いました。実施後の意識調査によると、過去にリアルな現地見学を引率した経験のある先生方の半数が、オンラインの学習効果を認めています。

■オンライン見学が効果的だと感じた点

- ・説明がよくわかった。
- ・引率では入れない所も見学できた。
- ・質問してその場で答えてもらえた。
- ・(現地へ行くよりも)集中して話を聴けた。
- ・移動時間なしで、時短になった。等

5 オンラインにはこんな効果も！

オンラインであれば、突然の学級閉鎖でも問題なく実施できます。また、オンライン授業に不登校の子どもたちが参加できた事例がいくつも報告されています。

まずは、お電話ください。

その学び、一緒に実現します！

(文化財課 学校連携担当 283-3552)

ものづくりによる深い学び ～理科教育における役割～



川口市立科学館 電話 048-262-8431
Kawaguchi Science Museum http://www.kawaguchi.science.museum

川口市立科学館 副主幹 石黒 裕也

ものづくりは、科学的な原理や法則について実感を持った理解を深めるものとして効果的であり、学習内容と日常生活との関連を図る上でも有効であるとされています。

近年、経験が少なく「はさみをうまく使えない」「テープを上手に切れない」など、手先をうまく使えない児童が増えてきています。

科学館ではそんな子どもたちのために様々なものづくり事業を通し、子どもたちの主体的な学びを支援し、深い学びにつながるような活動を実施しています。

科学館での実施だけでなく、**科学館職員が学校に伺い工作教室を実施する出張教室も随時実施しています**ので、ぜひご活用ください。

科学館におけるものづくり事業

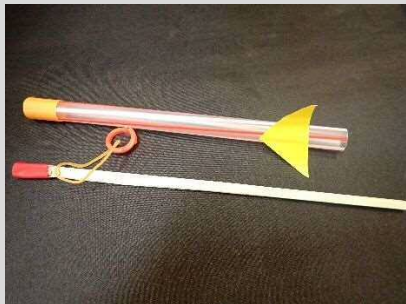
■わくわくワーク

土曜日開催

身近な材料を用い、科学にふれることができる無料講座です。

切る・折る・貼るなどのものづくりの基本を使って、家に持ち帰ってからも遊ぶことができるおもちゃづくりに挑戦します。

①ストロケット2号（3年生：ゴムの力）



発射台につけられたゴムの伸びにより飛距離が変わるロケットです。ゴムの本数や太さ

を変えることで、どのような変化が起きるかを実験してみましょう。

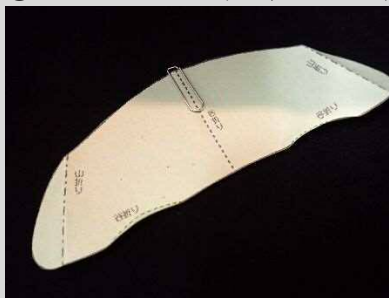
②かさぶくロケット（4年生：空気力）



かさ袋に封入した空気を押し縮める反発力を利用した飛び出すロケットです。

まっすぐ飛ぶための羽の付け方などを工夫してみましょう。

③アルソミトラ（5年生：生命のつながり）



種子が子孫を残すために進化し、より遠くへ飛ぶことができたようになった姿を再現しています。

どこまで飛ぶか競争してもおもしろいですね。

④バランスちょうちょ（6年生：てこ）



1点の支点でバランスがとれるちょうちょをつくりま

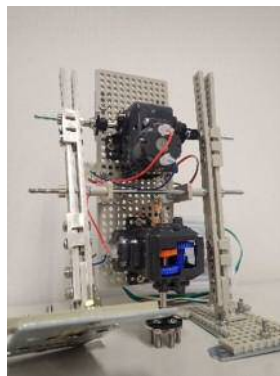
す。おもりとなるクリップをどこに留めたら良いか、てこの原理で調べていきます。

上記以外にもたくさんのテーマでものづくり教室を開催しています。

★科学ものづくり教室★

より専門的なものづくりに挑戦できる科学館講座をご紹介します。科学ものづくり教室では、電池やモーターなどを使った電気工作を中心に道具の使い方も学ぶことができます。

ものづくりが好きな子どもたち向けの講座です。毎月配布している科学館報で募集案内が出ていますので、学校の児童生徒にお声がけいただき、理科好きの子どもを増やしていきましょう。



2足歩行ロボット



電子オルゴール



詳細はこちらから

科学館ホームページ

令和4年度 川口市中学校駅伝競走大会 結果

期日：令和4年10月19日(水)
会場：川口市立南中学校周辺

◎ 県大会出場

順位	男 子			女 子		
	6 区間		距離 18.3km	5 区間		距離 12.31km
	学 校 名	タ イ ム	備考	学 校 名	タ イ ム	備考
優勝	◎ 東	61' 27"	大会新	◎ 戸 塚 西	46' 14"	大会新
第2位	◎ 上 青 木	61' 42"		◎ 南	47' 00"	
3	南	61' 45"		安 行	47' 23"	
4	戸 塚 西	62' 39"		芝 東	47' 24"	
5	在 家	62' 39"		附 属	47' 30"	
6	十二月田	62' 47"		上 青 木	48' 04"	
7	戸 塚	62' 57"		鳩 ケ 谷	48' 09"	
8	幸 並	63' 04"		幸 並	48' 18"	

[令和4年度 区間賞]

区間	男 子						区間	女 子					
	氏 名	学校名	学年	記 録	距離	備考		氏 名	学校名	学年	記 録	距離	備考
1	望月 大暉	在家	3	10' 04"	3.3km	区間新	1	永井 そら	戸塚西	2	11' 46"	3.3km	区間新
2	濱野 匠汰	幸並	2	9' 46"	3.0km	区間新	2	小澤 真由	戸塚西	2	7' 21"	2.0km	区間新
3	横田 翔生	南	3	10' 08"	3.0km	区間新	3	黒沼 柚輝	戸塚	1	7' 20"	2.0km	区間新
4	兼池 秀弥	西	3	10' 14"	3.0km	区間新	4	本間 由紀子	安行	2	7' 25"	2.0km	区間新
5	二瓶 琥太郎	戸塚	3	10' 12"	3.0km	区間新	5	木原 來南	戸塚西	1	11' 08"	3.0km	区間新
6	近松 心	上青木	3	9' 46"	3.0km	区間新							

